

【関東ブロック】

官民連携事業の推進のための地方ブロックプラットフォーム
「サウンディング」
案件登録様式

■ 記入票

項目	記入欄
1. サウンディング情報	
① 団体名	群馬県富岡市
② 事業名	妙義山パノラマパーク周辺施設活用事業
③ 本事業の現在の検討ステージ	<p>以下の中から本案件の検討ステージを選択してください。</p> <p>①. 事業発案 2. 事業化検討 3. 事業者選定 4. その他 ()</p>
④ サウンディングの目的	<p>○富岡市には世界遺産である「富岡製糸場」を有しているが、世界遺産登録から4年が経過し、来訪者数が減少の一途をたどっている。これは、登録当初から予想されていたことであるが、施設を維持していくうえでこれ以上の来訪者数の減は抑えたい所である。一方、富岡市には富岡製糸場と並ぶ観光地として日本三奇勝の「妙義山」が存在し、年間、推計値ながら80万人の観光客が訪れている。そのため、妙義山周辺に魅力ある施設を整備し、さらなる誘客を図り、相乗効果として富岡製糸場の来訪者を増やし、富岡市全体の観光を盛り上げる目的がある。</p> <p>○妙義山を訪れる観光客は、登山客や妙義神社への参拝客が多く、来訪者数の割に地域への経済効果が乏しい状況にある。今回、提案をいただく施設の一つは「妙義ふるさと美術館」で、名称こそ美術館を名乗っているが、法律上の要件を満たしていないことから、美術館としての機能を満たしていない。入館者数は、妙義山への観光客や、長く続く絵画展の開催に伴う無料の入館者もあり、年間で1万人ほどの入館者数はあるものの、施設の維持管理料は市からの持ち出しによるところが大きい状況にあり、施設のあり方を検討するため、昨年度（平成29年度）に住民による検討委員会が組織され、市に対し今後の運営や活用についての提言を受けたところである。その提言を受け、魅力ある施設への転換を図るため、サウンディングを実施したいとするもの。</p> <p>○美術館に隣接する「妙義ふれあいプラザ（入浴施設）」は、現在、指定管理による運営が行われ、市直営で運営していた時よりも経営状況及びお客さんの満足度も上がっている状況である。今回、美術館の活用を検討するにあたって、誘客また運営の方法を考え</p>

	入浴施設敷地 約 5,000 m ²	
③土地利用上の制約	国定公園内	
④所有者	富岡市	
⑤周辺施設等	妙義山の中腹にある施設 500m 圏内に、妙義神社、道の駅が立地	
⑥対象地周辺の一般的なイメージ	妙義山一体	
⑦その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)	妙義山をバックに勇壮なロケーション、また山との反対側には関東平野を見下ろせる抜群のロケーションにある施設	
(3)対象施設		
4-1. 建物	既存	整備後(予定)
① 施設名称	(1) 妙義ふるさと美術館 (2) 妙義ふれあいプラザ (3) 妙義山パノラマパーク	
② 施設の延床面積	(1) 1,473.00 m ² (2) 1,136.66 m ²	
③ 建物の構成(構造、階数)	(1) 鉄筋コンクリート、3階 (2) 鉄筋コンクリート、1階	
④ 主な施設の内容、導入機能	(1) 美術館(法律上の要件は満たしていない) (2) 入浴施設 (3) 花の植栽等	(2) 基本的には変更しない
⑤ 運営状況 (運営主体、事業手法等)	(1) 市直営 (2) 指定管理者 (3) 市直営	基本的には民間での運営を想定し事業委託、指定管理等を検討
⑥その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)	日本三奇勝の妙義山にある施設で、周辺には妙義神社、道の駅があり相応の観光客数があり、ロケーションも抜群の場所にある。	
4-2. インフラ系 (上下水道、道路等)	既存	整備後(予定)
①施設名称		
②規模、能力等		
③運営状況 (運営主体、事業手法等)		

④その他 (上記項目以外の情報、 特徴、留意すべきこと等)		
-------------------------------------	--	--

■ 添付資料

- 計画地の位置図
- 敷地図1、2
- 富岡市の人口・世帯集計表
- 収支状況・入込客数
- 検討委員会からの提言書
- 妙義ふるさと美術館平面図
- 妙義ふれあいプラザパンフレット内容
- 妙義ふれあいプラザ図面